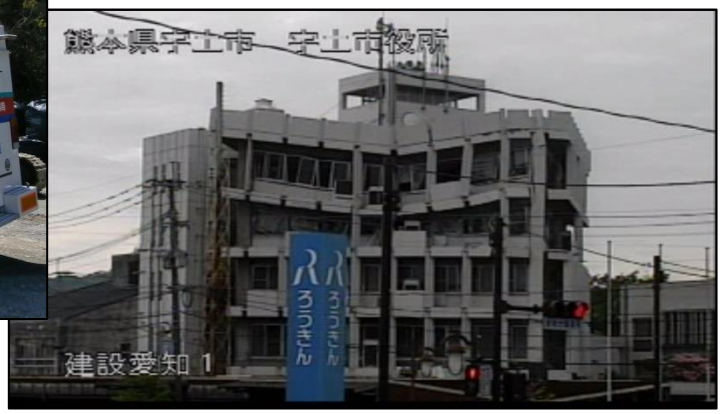
中部地方整備局の情報支援

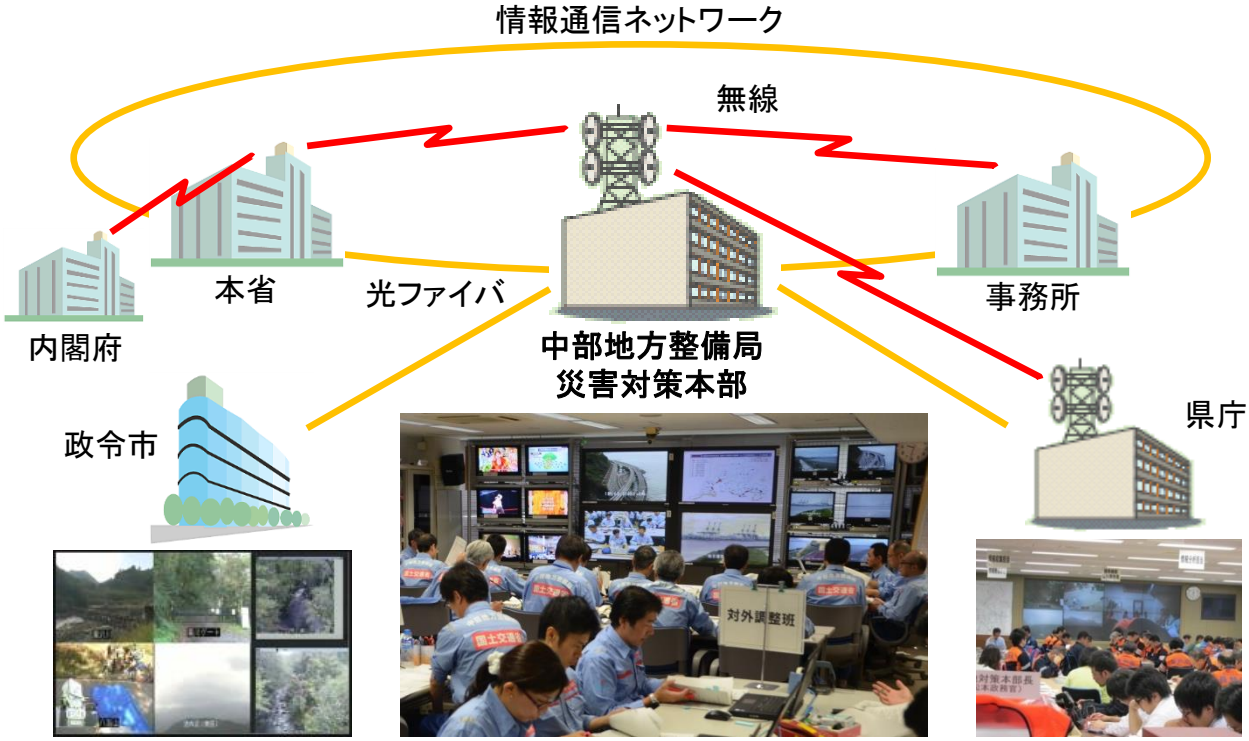
中部地方整備局では、災害に強い情報通信ネットワークと様々な情報設備を活用し、災害時等において県庁や政令市への情報支援を行っています。



平成28年6月
国土交通省　中部地方整備局

中部地方整備局の情報通信ネットワーク

・中部地方整備局では、大容量伝送が可能な光ファイバと災害に強い無線を統合した信頼性の高いネットワークを構築しています。
・ネットワークを県庁や政令市と接続し、カメラ映像やデータ等の情報共有を推進しています。



中部地方整備局が保有する情報設備

CCTVカメラ

【Closed Circuit Television Camera】

管内の河川、砂防、道路監視を行うために整備されたCCTVカメラの映像は、光ファイバにより中部地方整備局に集約されています。これらのカメラ映像の一部は、関係機関の他、放送局へも提供されています。

《保有台数》
河川カメラ　約800台
砂防カメラ　約100台
道路カメラ　約1，800台

カメラ映像

ヘリサット

防災ヘリコプター（まんなか号）からの空撮映像は、通信衛星を使用して日本全国どこからでもリアルタイムに中部地方整備局に配信できます。

ヘリサットを搭載したまんなか号

空撮映像

統合災害情報システム DiMAPS

【Integrated Disaster Information Mapping System】

DiMAPSでは、地図画面上にまんなか号の空撮画像をリアルタイムに表示することができます。

Ku－SAT

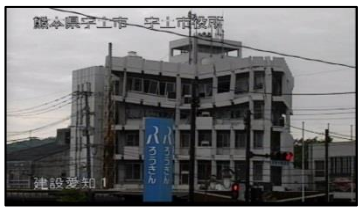
【Kokudokoutsu Universal – Small Aperture Terminal】

通信衛星を使用して、日本全国どこからでも、どこへでもリアルタイムに映像を伝送することができます。車載型と可搬型を保有しています。

車載型

可搬型

《保有台数》
車載型　6台
可搬型　17台



伝送映像

国土交通省　中部地方整備局
企画部　防災課（052-953-8357）・ 情報通信技術課（052-953-8157）
〒460-8514 愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番1号 名古屋合同庁舎第二号館

（H28.6）